

いわて



明日にトライ!

～いわてのチャレンジャーたち～

株式会社 薄衣電解工業
機械産業を支える
「めつき」で東北から全国へ



事業カレンダー

いわて産業振興センターに関連する事業紹介です

12月 —DECEMBER—

14日～16日 セミコンジャパン2016(東京都)

1月 —JANUARY—

18日～20日 ネプコンジャパン2017(東京都)

18日～20日 オートモーティブワールド(東京都)

24日 食品表示セミナー&農工商連携及び
地域資源活用に係る事業化セミナー

2月 —FEBRUARY—

2日～3日 とうほく・北海道 自動車関連技術
展示商談会(愛知県刈谷市)14日 次世代モビリティ開発拠点
プロジェクト成果報告会(盛岡市)

岩手連合学生フォーミュラチーム

全日本学生フォーミュラ大会EV部門優勝のご報告 4

CEATEC JAPAN 2016出展のご報告 5

価格交渉サポート相談室のご案内 5

生産管理講座のご案内 6

岩手県知財総合支援窓口のお知らせ 6

岩手労働局から最低賃金改定のお知らせ 7

新職員紹介 7

設備貸与制度のご案内 8



機械産業を支える 「めっき」で東北から全国へ

北上市

株式会社 薄衣電解工業

工業集積が進む北上市に進出して30年余り。北東北屈指の設備と種類を有するめっき工場を展開し、東北はもちろんのこと全国に顧客を抱える株式会社薄衣電解工業。

徹底した多品種少量生産体制を掲げ、ハンドワークを重視する“職人集団”は地域の発展も支えている。

多種多様なめっき設備、徹底した多品種少量生産が特長

機械部品などの表面に金属皮膜を生成する「めっき」は、耐腐食性や電気的特性など製品機能を高める重要な技術。事実めっき処理がなければ完成しない部品や製品は多く、半導体や電子部品分野でも要素技術のひとつに位置づけられている。そんなニーズを引き受けて創業から間もなく60年を迎えるのが、北上市の株式会社薄衣電解工業。受注先は東北はもちろん北海道から西日本にまで広がり、全国で730社にも及ぶ。

そもそも神奈川県川崎市で創業した同社が、岩手に進出したのは昭和60年。北上工業団地に構える工場設備は現在第4工場にまで拡大し、北東北という地理的なハンデをものとしないう事業展開を見せている。

大きな理由は、同社の持つ技術と生産力だ。「当社では錫めっきを主体とし、ハンドワークでの作業を必要とするような分野に力を入れています」と説明する西谷重夫常務取締役工場長は、平成25年度の「現代の名工」に選ばれた卓越技能者。業界に身を置いて40年以上、ニッケルめっきの改良をはじめ開発に携わった技術は多く、

めっき業界への貢献はいうまでもない。

そんな技術的リーダーが統括する工場では、徹底した多品種少量生産に取り組む。扱うめっきの種類はニッケルや亜鉛、クロムにアルマイト等々11種と多く、めっき液槽は50槽に及ぶ。製法別でも引っ掛けめっきやバレルめっきに加え、大型設備が必要なフープ（連続）めっきや半導体外装めっきにも対応、従来の防錆加工から電子部品、半導体部品やコネクタ等、幅広い製品を作り出す。

また多様化する顧客ニーズに対応すべく作業者の技能習得につとめ、ハンドワークや半自動機の生産ラインを拡充。さらに全国の協力工場と連携し、金型設計からプレスまで一貫生産による製品も提供している。「自社技術以外を含めた受注はリスクも大きいですが、取引先の要望を第一に納品に取り組んできた」と西谷工場長。クライアントファーストの精神が、事業領域を広げてきたのだ。

県内有数の工業地帯である北上地域は今、自動車関連産業を中心に活況を呈す。同社でも車載関連部品を数多く受注、西谷工場長

は「まるでかつての京浜工業地帯のように北上地区に仕事が集まっている」と感じている。だからこそ、より一層の技術レベルの向上につとめるべく「技術の伝承」を次なるテーマに掲げる。

「まずはハンドワークの部分で偏差値の高いスタッフをどう育てていくか。それとめっき産業の要ともいえる治具製作の精度をさらに上げていくことが重要。手の技を高めていくことが我々の最大のテーマです」。

今後は医療機器へのめっき技術の提供、さらには東北でもスタートしている航空機産業への参入も視野に入れた挑戦が始まっている。

常務取締役工場長
西谷重夫



①錫めっきの液槽が並ぶ第2課。数個単位の受注も多く、月の伝票の発行枚数は8000～9000枚にもなる。②作業者の技能習得にも取り組み、めっき技能士は30名を超える。③電気を通さないアルマイトのめっきは部品を治具にかけていく。この治具の構造と精度がめっき技術の要。④リードフレームの検査は人の目で。⑤コネクタのめっきを行うフープライン。錫の単層から金・ニッケル・錫の3層など製品は多様。

薄衣電解工業の技術

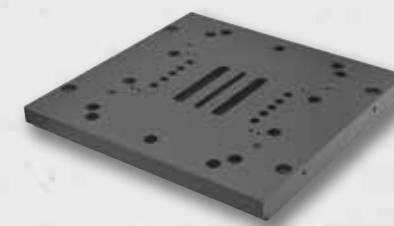
電子部品に欠かせない錫めっき。11種類のめっき・50槽のめっき液を有する同社では、このめっき関連だけで16槽を数える。錫めっきは柔らかく、ハンダづけなども容易であり他金属とのなじみも良いのが特徴。なおかつ耐食性にも優れた品質も安定することから、車のエンジン部門などにも使われている。



▲錫メッキ加工

薄衣電解工業の技術

「めっきのデパート」とも称される同社。第1課では防錆めっき部門として亜鉛やアルマイトほか、低温黒色クロムめっきを受注。高耐食性・乱反射防止性などに優れており、半導体や光学関連検査機器、デジタルカメラなどに使用されている。電子部品をメインに種々雑多なめっきを行う第2課は、材料から仕上がりまで一人の従業員が担当、経験によるハンドワークが際立つまさに職人の世界。第3課は半導体部品、第5課はコネクタ等の大型装置部門となっている。



▲低温黒色クロムメッキ加工



▲アルマイト加工



いわて産業振興センター活用事例

北上市で開催される「いわて商談会」に毎年参加しているほか、平成16年度には設備貸与制度を利用してフープめっきラインを導入。さらに今年から「工程改善研修会」へ参加、効果は売上等にも現れている。

企業データ

会社名 株式会社 薄衣電解工業
本社 北上市工業団地1-10(本社:神奈川)
電話 0197-66-6161
代表者 薄衣 敏則

CORPORATE DATA

創業 昭和33年(1958)5月
従業員 72名
業種 表面処理加工業
URL <http://www.usugidenkai.co.jp/index.html>

SIFT 岩手連合学生フォーミュラチーム —Students of Iwate Formula Team—

全日本 学生フォーミュラ大会 EV部門 優勝!!

SIFTとは

学生フォーミュラ大会は1981年にアメリカで始まり、日本でも2003年から「全日本 学生フォーミュラ大会」が開催されています。学生フォーミュラ大会は学生がフォーミュラスタイルの小型レーシングカーを開発・製作し、その技術力を競います。さらに製作費用も学生が調達する必要があるため、学生は団体・企業へ渉外活動を行います。

出場2年目の快挙!岩手の技術力を全国へアピール!

全日本学生フォーミュラ大会はガソリン部門、EV部門があります。私たちはEV部門に出場しました。目標はEV部門「**優勝**」を目指して活動してまいりました。おかげさまで今年度の全日本学生フォーミュラ大会EV部門で「**優勝**」を成し遂げる

ご支援のお願い

学生フォーミュラ大会では活動費や材料も学生が調達する必要がありますが、各チームは団体・企業にスポンサーとして協力を依頼しています。

私達は岩手県初の学生フォーミュラチームとして、岩手県を中心とする団体・企業の皆様のご協力の下活動しています。

現在スポンサーを募集しております。私達は活動資金をはじめ、部品製作、技術指導を必要としています。スポンサーの皆様はさまざまな場所でアピールさせていただきます。

ご興味をお持ちの方は以下の連絡先までお気軽にご連絡下さい。

ご協力いただいたスポンサー様



一関工業高等専門学校、岩手大学、岩手県立大学の三校では、地域イノベーション戦略「いわて環境と人にやさしい次世代モビリティ開発拠点プロジェクト」の一環として、教育プログラムの作成や自動車関係の研究を行ってきました。そこで2014年に誕生したのが岩手連合学生フォーミュラチーム「SIFT」です。

ことができました。

大会初出場の昨年度大会では静的審査を最後まで通すことができず、動的審査へ出場することができませんでしたが、今年は全ての審査に出場することができました。



一関高専の特許技術である世界初の装置
2モータトルク差増幅型TVDを搭載。高い旋回性能を誇ります。

お問い合わせ先 チーム事務局

✉ sift4210@gmail.com
 〴〵 https://twitter.com/sift4210
 〴〵 https://www.facebook.com/sift4210

CEATEC JAPAN 2016に出展しました

平成28年10月4日(火)~7日(金)に幕張メッセ(千葉市)で開催された「CEATEC JAPAN 2016」に当センターが県内企業と共同出展しました。

同出展は、「高付加価値型ものづくり技術振興事業」の専門展示会出展支援の一環として、県内企業が持つ素材・加工・組み込み技術等を国内外からの来場者にPRするためのものです。

県内企業は(株)アイオー精密(花巻市)、大森クローム工業(株)東北工場(北上市)、(株)サイバーコア(盛岡市)、(株)多加良製作所(北上市)、トラステックアース(株)(一関市)の5社が出展し、ブースを訪れた250名を超える来場者と商談・情報交換を行いました。

出展企業からは「集めた情報については今後追いかけて、受注活動に生かしていきたい」などの声が寄せられ、取引拡大に弾みがつく機会となりました。

また、「高付加価値型ものづくり技術振興事業」における募集中の取り組みについては、岩手県のホームページに順次公開しておりますのでご確認ください。



岩手県 高付加価値

検索

ご案内

価格交渉サポート相談室のご案内

価格交渉で悩んでいる方へ

- 単価引き下げの要請があるが、合理的な説明が全く無い。
- 短納期で仕事を行ったが、従来と同じ単価でしか支払ってくれない。
- 原材料の価格が高騰しているが、単価の見直しをしてくれない。
- 型を長期保管しているが、保管料を支払ってもらえない。

全国中小企業取引振興協会では、下請等中小企業の価格交渉力強化を支援するための「価格交渉サポート相談窓口」を設置しました。

親事業者からの単価値下げや無償での金型保管・管理などの要請に対し、取引条件の交渉力向上を支援いたします。ご相談内容に応じた専門家・経験者による個別相談指導(例えば、価格交渉を行うノウハウなど)を無料*で受けることができます。是非お気軽にご相談ください。

*無料相談は1企業につき3回まで。またご相談内容によっては、専門家派遣以外の方法をご提案することもございます。

価格交渉サポート個別相談

■ 個別相談の概要

価格交渉ノウハウについての相談指導を希望する下請中小企業の方に、価格交渉の前準備、自社と取引を行うメリットの提示方法、価格改定の必要性を示す見積り根拠(原材料や人件費の上昇などのデータ、個別原価計算等)、併せて業種別の下請取引ガイドラインの活用方法等について、専門家が訪問して個別に相談指導を行います。

■ 個別相談の申込み

個別相談を希望される方は、次の番号に電話をされるか、ホームページの問い合わせフォームからメールで連絡をしてください。

価格交渉サポート相談室 フリーダイヤル ☎0120-735-888

〔受付時間〕 平日9:00~12:00 / 13:00~17:00(土日・祝日・年末年始を除く) 携帯電話・PHSからもご利用になれます。

URL: <https://www.zenkyo.or.jp/kakakusupport/kobetsu.htm>

■ 個別相談実施までの流れ

1. 価格交渉サポート相談室で、相談内容を電話等でお伺いします。
2. 相談内容を整理の上、相談実施日等についての電話連絡を差し上げます。
3. 相談実施日が決まりましたら、専門家が訪問します。

■ 費用等

個別相談に係る費用は、3回まで無料です。
 個別相談に係る時間は、1回当たり最大で6時間です。

お問い合わせ先及び 申し込み先

公益財団法人 全国中小企業取引振興協会 価格交渉サポート相談室
 〒104-0033 東京都中央区新川2-1-9 石川ビル 2・3階 TEL: 0120-735-888
 URL: <https://www.zenkyo.or.jp/kakakusupport/index.htm> FAX: 03-5541-6680

生産管理講座—生産性向上にむけた生産管理—

●研修のねらい

企業が継続して利益を確保するためには、お客様（お取引先様）に満足してもらうことが、重要な条件になります。
本講座では、お客様（お取引先様）が満足するQCDを維持、提供していくために必要となる生産管理の考え方を講義と演習で学んでいただきます。

●開催概要

日 時	平成28年12月8日(木)～9日(金)	受講料	10,000円(賛助会員は8,000円)支払:研修終了後に納入通知書を送付します。
対 象	製造現場管理者・担当者	持参品	筆記用具、計算機
定 員	20名程度	その他	全研修時間の3分の2以上の出席者に修了証書を交付します。 服装は自由です。昼食の休憩を1時間とります。 岩手県外企業も受講が可能です。
会 場	岩手県工業技術センター(岩手県盛岡市北飯岡2-4-25)		

●カリキュラム

日 時	ねらい	内 容
12/8(木) 10:00	●生産管理の必要性 ●生産日程計画立案の手順 ●生産統制における進捗管理の重要性 ●多品種少量生産における生産管理とリードタイム短縮について	■生産管理とは ■多品種少量生産の生産管理 ■生産計画立案から進捗管理のサンプル ■ものづくりの考え方と現場改善の進め方 ■演習/要素作業分析とラインバランス検証
12/9(金) 17:00		

●講師紹介 経営コンサルタント 齋 巖(さいいわお)

昭和 19年 東京生まれ。法政大学工学部卒。
昭和 41年 関東自動車工業入社。生産情報、工数集計システム構築、原価管理、生産企画、購買業務に従事。
平成 7年 経営企画部長に就任、TQM推進活動に尽力。
平成 9年 東芝との合併会社取締役、専務として外販ビジネス、目標管理システム構築など多岐にわたって活躍。
平成 21年 いわて産業振興センターのコーディネーターに就任し、県内企業の改善意識の向上と啓蒙に努める。

お申込み・お問合せ

産業支援グループ 鈴木 電話: 019-631-3823 / FAX: 019-631-3830
ホームページからお申し込みもできます▶URL: <http://www.joho-iwate.or.jp/kenshu>

お知らせ

ご利用下さい! 岩手県知財総合支援窓口

秘密厳守

知的財産(=特許、実用新案、意匠、商標、著作権、ノウハウ・営業秘密など)のことなら岩手県知財総合支援窓口にお任せください! 知的財産の「出願・登録」、「侵害対応」、「知的財産の管理」、「知的人材の育成」、「知的財産を活用した経営」など知的財産に関するすべての相談にワンストップで応じます。

相談無料



知財専門家による無料相談会

知財専門家による定期窓口相談会及び各広域振興局管内での外部窓口相談会を行っています。

定期窓口相談会

会 場 岩手県発明協会
(盛岡市北飯岡2-4-25 岩手県工業技術センター2階)

日 時 毎週木曜日 午後1時から4時まで

無料相談申込み方法

相談を希望される方は、岩手県発明協会に電話又はホームページをご覧ください。お申込み方法等ご案内します。
岩手県知財総合支援窓口のホームページ
(<http://www.iwate-hatsumei.org/chizai/>)にはお申込みのためのフォームも掲載しています。

○外部窓口相談会(28年11月から12月までの開設分)

※いずれの会場も相談時間は午後1時から4時までです。

広域名	相談会場	開設日	担当弁理士
県北	県久慈地区合同庁舎	12月14日(水)	富沢智成(富沢特許事務所)
県南	県南技術研究センター	11月16日(水)	菅原 修(菅原特許商標事務所)
	花巻商工会議所	12月21日(水)	船越巧子(船越知財事務所)
沿岸	釜石・大槌地域産業育成センター	11月22日(火)	村雨圭介(SANSUI国際特許事務所)
	大船渡商工会議所	12月14日(水)	村雨圭介(SANSUI国際特許事務所)

岩手県発明協会 TEL: 019-634-0684 又は 全国共通ナビダイヤル TEL: 0570-082100
ご利用時間 9:00 ~ 17:15※12:00 ~ 13:00(休憩時間) 定休日 土・日、祝日、年末年始

岩手県知財総合支援窓口は、(独)工業所有権情報・研修館からの請負事業として、(一社)岩手県発明協会、(地独)岩手県工業技術センター、(公財)いわて産業振興センターが共同で運営しています。

お知らせ

厚生労働省/岩手労働局からのお知らせ



岩手県最低賃金が、平成28年10月5日(水)より
時間額695円から716円に改定されました。

適用対象労働者

全ての事業主は、その雇用する労働者(パート労働者・アルバイト等を含む。)に、最低賃金以上の賃金を支払わなければなりません。

対象となる賃金

最低賃金の対象となる賃金は、通常の労働時間、労働日に対して支払われた賃金に限られ、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、賞与は含まれません。

岩手県最低賃金と 岩手県特定(産業別)最低賃金

最低賃金には、岩手県内全ての事業場に適用される「岩手県最低賃金」と特定の産業に適用される「岩手県特定(産業別)最低賃金」があります。



最低賃金との比較方法

実際の賃金が最低賃金以上になっているかどうかを調べるには、最低賃金の対象となる賃金と岩手県最低賃金を次の方法で比較します。

- ① 時給の場合 時給額と岩手県最低賃金を比較します。
- ② 日給の場合 日給額を所定労働時間で除し、時間当たりの金額と岩手県最低賃金を比較します。
- ③ 週給・月給等の場合 賃金額を時間当たりの額に換算し、岩手県最低賃金と比較します。
- ④ 計算例 岩手県内の事業場で働く労働者Aさんの労働条件は、
年間所定労働日数255日、一日の労働時間8時間、月給115,600円とします。
改正された岩手県最低賃金は716円ですので、比較すると……

月給115,600円 ÷ 680円 < 岩手県最低賃金716円 となります
(年間所定労働日数255日×8時間÷12か月)

したがって、この場合は平成28年10月5日から発行する岩手県最低賃金716円を、満たしていないことになります。

詳細は、岩手労働局労働基準部賃金室(TEL:019-604-3008)へお問い合わせください。

URL ▶ <http://iwate-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>

岩手労働局 検索

お知らせ

新職員紹介

センターに新たに勤務しているコーディネーターをご紹介します。



ものづくり振興グループ
次世代モビリティプロジェクト推進室サブコーディネーター 佐々木 優
次世代モビリティプロジェクト業務



ものづくり振興グループ
取引支援チームコーディネーター 藤澤 久一
地域クラスター形成促進事業



産業支援グループ
窓口相談員 晴山 裕一郎
窓口相談業務



ものづくり振興グループ
研究開発チーム研究開発支援員 小笠原 勇司
戦略的基盤技術高度化支援事業

平成28年度 設備貸与制度のご案内

長期

3年～10年

低利

年1.3%～1.7%

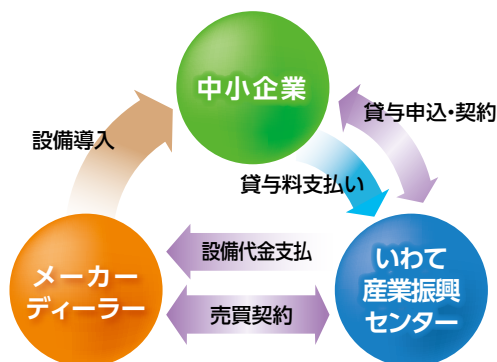
(固定金利) 東日本大震災で直接被災した企業は更に-0.1%

無担保

金融機関融資と別枠です

制度のしくみ

この「設備貸与制度」は、岩手県内の中小企業の皆様が必要とする機械、設備をセンターが購入し、長期・低利で貸与する公的制度です。



条件1

- 1 中小企業等経営強化法に基づく計画認定企業 (経営革新・異業種連携)
- 2 中小企業地域資源活用促進法に基づく事業計画認定企業
- 3 農商工等連携促進法に基づく事業計画認定企業
- 4 いわて希望ファンド、いわて農商工連携ファンド採択企業
- 5 自動車関連産業企業
- 6 加工高に対する県内企業への外注比率が10%以上の企業
- 7 県内企業5社以上に下請発注している企業
- 8 県内企業への下請発注額が1,000万円以上の企業
- 9 今回の設備を設置することで⑥～⑧のいずれかに該当する企業

※上記のいずれかの条件を満たせば、2億円まで貸付及び保証金5%対応可能

条件2

東日本大震災で設備又は事業所が被災し、市町村等が発行する罹災証明書等の発行を受けている中小企業

※上記のいずれかの条件を満たせば、適用利率から0.1%の引下げ及び据置期間2年の対応可能

条件3

商工会及び商工会議所を経由して申込をした企業

※上記の条件を満たせば、10年以内において、返済の基準となる耐用年数の期間について2年を超えない範囲内で延長すること可能

区 分	設備貸与(割賦販売)	リース
対象企業	県内に事業所・工場を有する中小企業 (企業組合・協業組合含む)	県内に事業所・工場を有する中小企業 (企業組合・協業組合含む)
貸付期間	3年～10年 (導入設備耐用年数上限) (右記条件3を満たせば10年以内で2年延長可能)	3年～10年 (導入設備耐用年数上限) (右記条件3を満たせば10年以内で2年延長可能)
貸付限度額 (消費税含む)	100万円～1億円 (右記条件1を満たせば2億円)	100万円～1億円 (右記条件1を満たせば2億円)
対象設備	設備(建物を除く)	汎用設備(中古・車両を除く)
保証金	貸与額の10% (右記条件1を満たせば5%) (最終償還時に返済)	——
利 息 (貸与損料)	年率1.30%～1.70%(固定金利) (お申込企業様の財務内容により決定) (右記条件2を満たせば-0.1%)	——
リース料 (月額)	——	5年=1.867%(参考) 7年=1.389%(参考)
連帯保証人	法人:代表者1人 個人不要(経営者保証ガイドラインに準拠)	

※運賃・取付工事は貸付の対象となりますが、建物部分・基礎工事は対象外です。一部、対象とならない業種、設備がございますので詳しくはセンターにお問合せ下さい。

お問い合わせ

総務・金融グループ

TEL: 019-631-3821 FAX: 019-631-3830
http://www.joho-iwate.or.jp/setsubi